

令和4年度 算数科 授業改善推進プラン

台東区立富士小学校

<課題>

- ・記述式の問題では、無回答や誤答が目立ち、考え方や解き方を説明する力に課題がある。
- ・学力調査において、基礎的・基本的な計算力が、平均を下回っている。
- ・学習時にはできているのだが、面積や体積の求積方法や、作図の仕方を忘れてしまい、定着していない児童が多い。

<特に育成を目指す資質・能力>

- ・主体的に考えようとする態度を育成し、解き方や考え方を言葉や文章、図を使って説明する思考力・表現力を育てる。
- ・学年に応じた、整数、分数、小数の基礎的な計算力、作図する能力を重点的に身に付けさせる。

<指導方法・体制の工夫>

- ・作図などの操作活動や、自分の考えを文章や言葉等で表現する場を多く設ける。
- ・朝学習で、様々な領域の問題に繰り返し取り組む。習熟が不十分な児童に対して、個別指導を行う。

<p>1年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体物を使った算数的な学習活動を多く行い、基本的な学習が理解できるようにする。 ・問題解決学習を取り入れ、児童に思考力・表現力が付く授業を行う。 ・朝学習や家庭学習を使って、繰り返し計算問題を解き、学力向上推進ティーチャーと連携して個別指導を行う。 	<p>4年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図形に関しては、角度の測り方や図形の特徴などの理解について、実感を伴って理解することができるよう、繰り返し取り組ませたり、体験的な学習を取り入れたりする。 ・小数の仕組みや、わり算の筆算などの学習では、補充プリント教材やドリル教材を活用して、定着を図る。 ・朝学習や家庭学習の時間に、計画的に取り組めるよう、算数少人数担当や学力向上推進ティーチャーと連携を図って教材の準備をする。
<p>2年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図を描いたり、かさを実際に測ったりする、体験的な学習を取り入れる。 ・自分の考えを文章や言葉、図などで表す学習活動を行う。 ・基礎的な知識理解が定着するように、朝学習や家庭学習で繰り返し計算問題に取り組み、学力向上推進ティーチャーと連携を図りながら、必要に応じて個別指導を行う。 	<p>5年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを図や式、文章で表現する場と友達と考えを交流する場を多く設ける。 ・補充プリント教材やドリル教材を活用して、定着を図る。朝学習や家庭学習の時間に、計画的に取り組めるよう、算数少人数担当や学力向上推進ティーチャーと連携を図って教材の準備をする。
<p>3年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業では、自分の考えを文章や言葉、図などで表す学習活動を繰り返し行い、思考力や表現力を高めていく。 ・朝学習や授業のはじめの5分間を使って、基礎的な計算問題に取り組み、基礎的な知識理解の定着を図る。また、学力向上推進ティーチャーと連携し、休み時間や放課後の時間に個別指導を行う。 	<p>6年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを図や式、文章で表現する場と友達と考えを交流する場を多く設ける。 ・補充プリント教材やドリル教材を活用して、定着を図る。朝学習や家庭学習の時間に、計画的に取り組めるよう、算数少人数担当や学力向上推進ティーチャーと連携を図って教材の準備をする。